



あさくらの未来を



描くのは私たちだ!

発表会に参加した 6 グループの提言を紹介します



市長賞

朝倉全体が元気になる
イベントがしたい! /



すいじん

水刃 夏だ! 水だ! こどももおとなもはっちゃけろ!

朝倉光陽高校 ミズガメ

あまぎ水の文化村で「ウォーターサバゲー」のイベントを開催します。チームに分かれて水鉄砲を打ち合い、よりたくさんのポイに水をかけたチームの勝ち。使用する水鉄砲はワークショップで竹から手作りすることもできます。

また、会場ではマルシェやキッチンカーで特産品を販売。近隣の施設ともタイアップし、温泉の割引クーポンも配布します。どんな世代の人でも、一日中楽しめるイベントです。大会の運営は専門の民間企業に委託し、SNS を中心に高校生も広報活動を行います。



四季を楽しむ ASAKURA ワクワクキャンプ
～SDGs 持続可能な住み続けられるまちづくりを～

朝倉東高校 朝倉キャンプ隊

「朝倉オートキャンプ場」の持続可能な活用法を提案します。倒木などを活用したまき割りや火起こし、生ごみを再利用した肥料づくり、ジビエ料理づくりなどの体験を通して、自然を楽しむ取り組みを創出します。そのほか、教育キャンプの誘致、朝倉産の食材・地酒を販売して地産地消を促進、ガイドツアーなどを充実させてインバウンド観光客の増加を図り、朝倉の活性化につなげます。



四季で楽しむ朝倉

明善高校 にわたづみ

原鶴温泉河川敷で四季に合わせたイベントを開催します。春はクイズラリーを実施し、朝倉の歴史を学びながら魅力にも気付いてもらいます。夏はマルシェを開催し、規格外の食材を加工品にして販売。フードロスの削減にもつながります。秋はマラソンをしながらフルーツを味わうイベントを開催。冬はバンブーキャンドルの製作体験と展示を行い、河川敷をライトアップ。河川敷を有効活用します。



原鶴 revolution!!

朝倉高校 AB

原鶴温泉の複合型施設として河川敷にドッグランを開設します。飼い主もペットも楽しめる足湯を設置し、併設のカフェでは、朝倉の野菜を使用したペットフードを提供。保護犬の譲渡会も定期的に行います。資金集めや PR はふるさと納税を活用し、原鶴温泉の活性化を目指します。

Let's 原鶴温泉体験! サウナでととのう! 温泉でととのう!
～健康寿命で朝倉の温泉文化を世界に～

朝倉東高校 温泉広め隊

温泉とサウナを売りにして観光客を呼び込みます。また、特産品を使用した発酵ドリンクなどの菌活フードも販売し、健康ブームにアプローチ。そのほか、シニア向けの定額サービスや電子決済の導入、多言語対応など、朝倉の温泉文化を世界に広めます。

「FREE ダム」な憩いの場所へ!

昭和学園高校 昭和・特進

小石原川ダムふれあい公園をバイク愛好者以外も楽しめる場所にします。プロライダーによる交流イベントや流木・土砂を活用したオフロードコースの設置、ゴーカートの設置、キッチンカーで特産品の販売を行うなど、大人も子どもも楽しめる公園を目指します。



▲惜しくも入賞を逃した3グループにも、市長より参加賞が手渡されました。



▲市 HP で提言の要旨などを確認できます。

「ふるさとの水で感動体験」
をテーマに107件の応募

テーマは「コンネ! 水もしたたる
いいところ朝倉」ふるさとの水で感動体験を。第13回を迎えた今年度は、市内外から107件の応募がありました。
10月20日に市役所本庁議場で開いた発表会では、一次審査を通過した6グループが、林市長や市議会議員、民間企業の審査員、観覧者、中学生の前で発表。発表中や審査員からの質問に自

市では、高校生の皆さんの柔軟な考え方や感性、視点で、地域活性化のアイデアを提言してもらう「朝倉市の未来予想図(高校生の提言)事業」を実施しています。
この事業は、高校生と地域の現状やさまざまな課題を共有し、自分が住んでいるまちへの愛着とまちづくりへの興味や関心を高めてもらい、将来の朝倉市の担い手を育成することを目的に平成23年度から実施しています。

高校生の視点をまちづくり



朝倉市の未来予想図

(高校生の提言)



▲発表者と審査員との活発な議論が交わされ、次の世代を担う中学生も真剣に聞き入っていました。

信を持つて堂々と発言する姿から、グループ内で議論を重ね発表に臨んだ様子が伺えました。
審査は企画性や独創性などの基準により行い、市長賞をはじめ、入賞した3グループを表彰。どのグループも高校生ならではの柔軟なアイデアで、話し方や発表方法など、観覧者を惹きつける、とてもすばらしい発表でした。

描いた未来をかたちに

過去に行われた提言から、事業化したものを紹介します。

令和4年度開催の高校生の提言は「未来につなぐ朝倉の環境」がテーマ。九州電力の協力により、昭和学園高校の提言「フードロス削減キャンペーン」が三連水車の里あさくらとファームステーションバサロで開催されました。

また、市内のスーパーやコンビニに同校がデザインしたフードロス削減を呼びかける「てまえどり」のポップを配布しました。

